

夢 っ う し ん

第4号

発行：2023年7月10日
特定非営利活動法人
いなべこども活動支援センター
〒511-0202いなべ市員弁町楚原940
TEL 74-5775
FAX 74-4986
e-mail info@inabecs.jp
URL <https://www.inabecs>



あいさつ

子どもたちの楽しそうな笑顔と笑い声が聞こえてくる教室、
目を輝かせて取り組む工作やものづくり、
そんなひとときを大切にしている「こどもゆめ教室」です。
運営に関わっていただいている先生方やサポーターの皆さんと共に
健やかな子育ての応援を柱として、子ども主体の活動を頑張っています。
(理事長 辻 久好)



ボランティア活動

昨年、高校生ボランティアで活動した2人が大学生になって、
ボランティアをしたいと嬉しい申し出をしてくれました。
また、高校生2人も続けてボランティアに参加してくれています。
「Hana☆Iro」や「かけっこよーいどん」「たのしい能
楽」では、小中学生が手伝ってくれています。
少しずつボランティアの輪が広がっていくのが楽しみです。



サポーター・ボランティア募集

こどもゆめ教室では、サポーターや学生ボランティアを募集しています。
活動内容は、受付や、子どもたちの見守り、記録写真、講師のサポートなどです。
ちょっと年上の存在である中高生が関わってくると子どもたちも喜びます。
子ども好きな方お待ちしております。

スマイルフェスタで教室体験活動

6月10日(土)、いなべ市民活動センター主催のスマイル
フェスタにて、もっくんのキーホルダーづくりを行いました。
キーホルダーだけでなく、みんな工夫して、傑作、大作がで
きました。



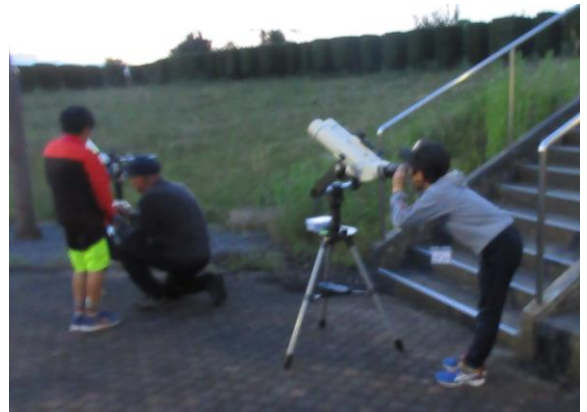
今年度のレギュラースクールは26教室が開講

星空・宇宙を楽しもう！ 5月20日(土) 美術工芸室・中庭にて開催

初回は年間のガイダンスから始めました。

- ・教科書として「宇宙のふしぎ なぜ? どうして?」宮本英昭著
- ・星座盤の代わりにスマホアプリの「ステラリウム」
- ・ホームページとして「ウチューンズ」などを推薦しました。

その後、広場に出て・金星・北斗七星・北極星・春の大曲線・春の大三角・しし座などを観察できました。子供達には金星が月のように欠けているのが一番受けたようです。春の星雲星団は準備不足で見ることが出来ませんでした。子どもたちには星空・宇宙を自分で本やスマホやパソコンでどんどん楽しんで欲しいというのが私の願いです。(文:講師高橋賢二)



ドンチキ先生のフィールドワーク 5月21日(日) 藍ランド(大安町)にて開催

ドンチキ先生のサイエンス講座の生物・地学の分野を学ぶ「ドンチキ先生のフィールドワーク」。ドンチキ先生と仲間たちが8ヵ月かけて完成した六角形のログハウスのある場所をフィールドにして開講しました。初回は、植物観察。15倍のルーペで植物をじっくり観察したり、太陽の光とレンズを使って紙を焼くのはみんな意欲的に取り組んでいました。10円玉の錆を取る植物のことも知ったり、植物の観察の方法を学びました。最後に藍工房の見学もしました。(文:近藤順子)



やさしいお弁当 6月10日(土) 員弁町老人福祉センター調理室にて開催

元魚屋さんでお惣菜づくりの得意な方を講師にお迎えして今年度から始まりました。その日作ったおかずでお弁当を作る教室です。お米のとき方から調味料のはかり方、季節の素材を使った料理のおいしさなどのお話がありました。

初回の献立は、三色丼、肉じゃが、車麩のフライ、ミニトマト。

子どもたちはどの子もやる気十分で、調味料を量ったり、ジャガイモ、玉ねぎ、肉などを切ったり作り始めました。お家でもお手伝いなどを通して包丁を使ったことがあると楽しそうに話し、肉じゃがの煮含ませ方、車麩のフライでは味付けしたダシ汁につけて戻したり、とりそぼろや炒り卵は菜箸を5~6本手に持ってかき混ぜたりして一品ずつ仕上げていきました。そしてお弁当箱につめます。三色丼の具のつめ方をいろいろ工夫しながら思い思いのお弁当を完成させました。

(文:太田奈央子)

